

2013年8月～2014年8月

研究関連のニュース

(三重大学広報誌「Flash News」より)

詳しい情報を知りたい方は、下記アドレスのページをご覧ください。

<http://www.mie-u.ac.jp/report/news.html>



記者会見

「血液脳関門障害を簡便に可視化する方法の開発」

医学系研究科の田中利男教授らのグループが、血液脳関門障害を非侵襲的かつライブに可視化することを実現する新しい蛍光色素を開発しました。

(2013.8.23)



シンポジウム

第10回 三重大学先端研究シンポジウム

都市センターホテル(東京都千代田区)で、企業と大学の連携に関する取り組みの紹介や歴史系分野に関する研究紹介などが行われ、参加者約140人は熱心に聞き入っていました。

(2013.12.3)



式典

地域イノベーション研究開発拠点 完成記念式典

標記研究拠点が完成し記念式典が行われました。大学・地域・企業の「力」をつなぐことで三重地域圏の発展を担う人材と地域のイノベーションを生み出すことを目的としています。

(2014.1.10)



記者会見

「新たな白血病幹細胞治療薬の高速探索法開発に成功」

医学系研究科の田中利男教授らのグループが、白血病の再発や転移の原因となる白血病幹細胞の治療薬を従来の100倍のスピードで発見する高速探索システムを開発しました。

(2014.1.21)



記者会見

「動脈硬化の新しいメカニズムを発見 一心筋梗塞や脳梗塞の分子機序を解明」

生命科学支援センターの山田芳司教授らのグループが、動脈硬化の進展に強く関連するエピジェネティクス機構(6種類の遺伝子のメチル化または脱メチル化)を発見しました。

(2014.2.4)



イベント

三重大学 アカデミックフェア2014

三重大学の学生らが自らの学習・研究の意義、内容、成果を分かりやすく紹介する機会として開催しています。今回は、学習活動、研究活動、地域連携実践、高大連携事業など幅広い分野で個人やグループによる78の発表がポスターセッション形式で行われ、約240人が会場に足を運びました。(2014.2.17)



式典

三重県・三重大学 みえ防災・減災センター開所式

本センターは防災活動拠点として三重県と共同で設置しました。大学と県が一体となった防災組織は全国初の取り組みであり、今後は防災人材の育成や市町・大学・企業を結び付ける「防災ハブ」としての機能などを発揮し、三重県の防災・減災に貢献することが期待されます。(2014.4.18)



記者会見

「世界初:妊娠中のウイルス感染 モデルラットにおける胎生期及び生後のセロトニン神経の異常」

医学系研究科の大河原 剛講師、成田正明教授らのグループが、妊娠中のウイルス感染が胎児の情動や認知行動をつかさどる神経に異常を引き起こすことを発見しました。

(2014.6.6)



記者会見

「慢性的な皮膚炎には内臓疾患が生じる可能性があります」

医学系研究科の山中恵一准教授らのグループが、アトピー性皮膚炎などの皮膚炎が持続することにより動脈硬化や全身性アミロイドーシス、脂質代謝異常などを引き起こす可能性を発見しました。(2014.8.20)



編集後記

三重大学には多くの個性豊かな教員がいます。その教員の各々に学生や市民への門が開かれています。その門の向こうに新たな未来が広がっているはず。多くの門があり、多くの未来の可能性が横たわっているのです。この小誌がこうした未来への門を多少なりとも紹介できたなら、望外の喜びです。